

◎各講演の前に、15分程度の図書館又は文書館の利用ガイダンスを実施いたします。
(10:15~10:30)

テーマ・講師・内容		
6月24日 (金) 10:15 ~ 12:00	『王朝人と海』	県立広島大学 地域創生学部地域創生学科 教 授 西本 寮子
	海の向こうの国から多くの書物や文物を受け入れていたこの列島の文化の発展は、菅原道真の遣唐使停止の建白により曲がり角を迎えました。和様文化が大きく花開いた平安時代の人びとは、あこがれの国につながる海をどのように見ていたのでしょうか。物語を中心とする文学作品から探ってみます。	
7月1日 (金) 10:15 ~ 12:00	『海を越えた世界の物語』	県立広島大学 地域創生学部地域創生学科 准教授 目黒 将史
	周囲を海に囲まれた日本において、海は境界の一つでした。海を越えてやってくるもの、出て行くものたちの「漂着」「島渡り」の物語が多数残されています。本講座では古典文芸作品に描かれた海の物語を読み解き、日本人が海を越えた世界をどのように想像してきたのかを探っていききたいと思います。	
7月8日 (金) 10:15 ~ 12:00	『瀬戸内の港町の成立と発展』	県立広島大学 地域創生学部地域創生学科 教 授 鈴木 康之
	瀬戸内海には多くの港町が存在しますが、その多くは、平安時代末期から鎌倉・室町時代にかけての中世と呼ばれる時代に成立・発展しました。近年の歴史学・考古学の研究成果から、こうした港町がどのように成立・発展し、沿岸に暮らす人々の生活や文化にどのような役割を果たしてきたのかを考えてみます。	

Web 申込・受講にあたってのお願い

(1) 申込締切後、メールで受講案内をお送りします。

必ず、パソコンからのメール (@pu-hiroshima.ac.jp) を受信できるようにしておいてください。また、添付ファイル付きのメールを受信拒否しないようにしてください。

(2) 受講案内を受け取ったら、受取確認のメールを返信してください。申込締切後に受講案内が届かない場合は、お問い合わせください。

受 講 条 件

県立広島大学地域連携センターの公開講座を開講するにあたり、新型コロナウイルスの感染拡大予防に関する対応をお知らせします。

1 受講者の皆さまへのお願い

- (1) 講座にはマスク着用の上、ご出席ください。(着用していない場合は、受講をお断りする場合があります。)
- (2) 飛沫感染を防ぐために、受講者間の会話はできるだけ小さな声で、短時間のうちに済ませるようお願いします。
- (3) 次のような症状がある場合は出席をご遠慮ください。
 - ・37.5度以上の熱がある場合・咳、くしゃみなどの風邪症状がある場合
 - ・だるさや息苦しさなど、普段と体調が違うと感ずる場合

2 大学の対応

- (1) 実施会場は、受講者間を2mの距離が取れる広さの教室とし、窓を開け、定期的に換気します。
- (2) 教室内で共用の物品や頻繁に接触するドアノブ等はこまめに消毒します。
- (3) 講座担当教職員はマスクを着用します。資料配布時は手袋を着用し、配布します。
- (4) 受講者の当日の体調について、問診します。

3 公開講座の中止または延期

新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、やむを得ず、公開講座を中止または延期する場合があります。